

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2012年7月1日

106号



パンタナールの春をつげる

とされています。

「ブラジル」は、ポルトガル語で「赤い木」という意味だそうですが、必ずしもイッペーの木を指して言うのではないようです。

しかし、よく見ると桜とは花の形が全く違います。咲く時期はピンクと白のイッペーは7月、黄色は8月頃で、レダでは冬期です。早朝は気温が10℃以下になりますが、日中は20度前後になります。6℃前後になると、寒くて凍えて咲いていた花も枯れてしまうのを見たことがあります。

多くの落葉樹が葉を落としている時に、イッペーも花が鮮やかに木全体を覆います。山にイッペーが多く生えていると、山全体がピンク色や黄色に萌え、それは見事です。(時期がずれるのでピンクと黄色の花が混ざり合うことは余り見られません。)いずれにしてもこの花を見ると希望に感じるの、桜を見るのと似ているのかもしれませんが。(飯野記)

一見、桜の花に似ているこのイッペーの花は、俗にブラジルの国花

レダの活動

今年の9月にも、再度ふ化を試みようとする。様々な準備がなされています。



第2の池（65メートル×100メートル）には1年半前に、1cmほどの稚魚を2500匹入れましたが、その後の成長の様子は目覚ましく、大きさは平均1・5キロになっていきます。味も天然の川魚と変わらず、脂身のある美味しいものでした。500匹を第1の池（50メートル×30メートル）に移動しました。匹手作業で寄生虫の除去作業をしました。ほぼ1000匹でしたが、予想以上の成長に驚きました。



養豚

昨年の12月、8頭から始まった養豚は、5月30日に豚ランドで、赤ちゃんを産んだ白豚で、豚の実数は409頭となりました。大きくなって牙が成長すると、人にとって危険なために、小さいうちから牙を切っておきます。小さいオス豚の鬼歯をペンチで切り取るマリオさん。

牧畜

レダ基地から6キロほど奥地にある、

牧童小屋が完成間近です。放牧された牛の管理には欠かせません。



レダ植林

会員の中田欣宏さんは、今回レダを訪ねて、生前に奥さん（育子夫人）が、レダに来て植樹した7本のニームの木が大きく育っているのを見ることができたと喜んでいました。また、妻をいとおしむように丁寧に木の剪定をしたり、記念の写真を撮ったりと、様々な視察もかねて過ごしていました。「感慨ふかいものがあります。妻の心情のこめられたレダの地なので、自分も何かレダの為に形あるものを残せるように努力めたいと思います」と、話していました。



レダでは、飯野貞夫さん（現地移住者）が、会員から植樹された多くの木の保護を、現地の労働者を教育し、一緒になって管理をしています。

2012年第12回国際協力青年奉仕隊

ミンガグアス市

ミンガグアス市プロジェクト第一弾。

5月18日、ミンガグアス市の要請により、クリーンシテイ構想の一環とし、170本の苗木を贈呈し、市の環境局、教育委員会の関係者とともに市の憩いの広場に植えました。9月の国際協力青年奉仕隊が来るまで継続的な植樹を行ないます。苗木の種類はラパーチョ、スギ、松などです。柴沼記

マリア・アウシリアドーラ (5月21日)

昨日、アスンションを出発し、フィラデルフィアで一泊し、今日、朝早く出発、舗装されていない道路を6時間ほど乗り、今年、青年奉仕隊の活動

場所、マリア・アウシリアドーラ村に到着、学校が強風で屋根が吹き飛ばされた状況を見て、とても驚きました。1年前に州の援助によって建てられたばかりの新しい校舎ですが、周りの家は特別な被害を受けた様子はないのに学校の屋根が写真のように全体が吹き飛ばされ完全にすべての教室が青空教室になってしまいました。昨年の11月頃に吹き飛ばされてから修復がなされていないため、学校全体が使用できなくなる可能性があり、州に修復を要請しているのですがいっこうに返答がありません。

現在、小学生は40名近くおり、村の教会を借りて、授業をしていますが一部屋しかなく、とても困難な状況にあることが分かりました。

村ではいまだ、再建の目途が立っておらず、支援をすることを約束し村を出発しました。村に日本からの青年が来て、学校周辺に植林活動することは大歓迎であるとのことで夏の青年奉仕隊には大きな期待を感じているようでした。



レダを彩る花々



第12回国際協力青年奉仕隊支援のお願い

今日までの活動の様子



インディヘナの村への学校建設と修復 2005.09.02



2003.12.8

村の子供たちとの文化交流（歌を教え、日本の文化を紹介）



植林後1年、成長するニームの樹

2011年9月6日、パラグアイのルゴ大統領を表敬訪問し、過去10年の活動を報告する（大統領官邸）



第十二回国際協力青年奉仕隊への支援のお願い

（二〇一二年八月二十五日―九月十日）

今年、八月二十五日に日本を出発し、地球の裏側に位置する南米、パラグアイの首都アスンシオンから八百km離れている辺境の地、マリア・アウシリアドーラ村の学校の修復と教育環境向上のための植樹活動を行うことになっています。必要な経費は会員並びに一般の方々からの募金と未使用の切手、はがき、テレフオンカード等の換金で賄っています。左記に記されている口座が事務局へ直接、現金書留でお願いします。また、切手等は事務局に送ってくださるようお願いいたします。

南北米福地開発協会 事務局

〒二一三〇〇〇一

神奈川県川崎市高津区

溝口三十一―十五

岩崎ビル四F

電話

〇四四―八二九―二八二一

Fax

八二九―二八二〇

会費納入

郵便口座

一〇一八〇―七七六八〇四七一

南北米福地開発協会

Eメール

office@asd-nsa.jp

ホームページ <http://www.asd-nsa.jp>